



Weekly PRINCIPAL

vol.011 Apr. 10th 2008

週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル 週刊プリンシパル

この **weekly PRINCIPAL** は、校長の責任で発行する西京高校/附属中学校の週刊情報紙です

いよいよ新年度の普通授業が始まりました。春休み中、校内のコンピュータシステムの更新作業があり、やむなく **weekly PRINCIPAL** を休刊とさせていただきます。新校舎も5年目、リース期間が過ぎ、PCをはじめとする機器が一新されたためです。しばらくの間、ネットにもアクセスできないことがあったかもしれません。ご迷惑をおかけしました。当分、新システムに不慣れなため、トラブルが生じるかもしれません。その節は、ご理解とご海容の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

上海フィールドワーク2008 - エンタープライジング科外進生の最大行事、無事終了!



3月18日(火)から23日(日)までの5泊6日間、エンタープライジング科の最大行事である「上海フィールドワーク2008」が実施されました。本年度で第5回目となるもので、先進的な発展を遂げている中国経済の実態を、上海市内のフィールドワークや日本企業の現地法人訪問を通じて、理解しようとするものです。交流提携を結んでいる上海大学やその市北附属中学、堀場儀器有限公司(株式会社堀場製作所の現地法人企業)や川島織物有限公司(株式会社川島織物の現地法人企業)のご協力を得て、生徒の国際的視野の拡大や豊かな経済センスの育成に大きな成果を挙げました。直前に、いわゆる中国の「食の安全」にかかわる深刻な問題が浮上し、保護者の方々には大きな心配をおかけしましたが、交流・研修・調査のすべてにわたって、生徒たちは過去最高の成果を挙げたようです。成果発表会は、東京カンパニックフィールドワークの成果発表とも合わせて、6月28日(土)に本校で実施します。

なお、今回のフィールドワークについては、堀場製作所・川島織物のご協力はもちろんのこと、上海大学市北附属中学の王金根副校長が事前に本校を訪問され、また、王金寶校長が親書をお届けになるなど、過去4年の交流を踏まえた最大限のご対応をいただきました。上海大学国際交流学院のご尽力も含めて、関係皆様に厚く御礼申し上げます。

東京アカデミックフィールドワーク2008 - エンタープライジング科内進生の初取組!!



上海フィールドワークと並行して、本校附属中学出身者(内進生)による東京アカデミックフィールドワークが、3月19日(水)から21日(金)までの2泊3日間、実施されました。これは、附属中学3年生で行った中国蘇州・上海研修をふまえて、さらに豊かな経済センスの育成するため、東京でのフィールドワークを行うこととなったものです。日本を代表する企業(丸紅株式会社、富士通株式会社、野村ホールディング株式会社、株式会社リクルート)を訪問し調査研究、また、代表的な大学・研究所(東京大学・日本科学未来館・国立科学博物館宇宙航空研究開発機構)など訪問によって将来展望の視野拡大を図ろうとするものです。経済教育団体JAのご協力による企業(ソニー・三菱東京UFJ・フジテレビジョン・大和証券・日本IBMなど)や本校EP科卒業の現役東大生の大きな協力も得ました。今回は初めてとなる取組みでしたが、成果は6月28日(土)に、上海フィールドワークの成果と合わせて発表します。



関係の企業の皆様には本当にお世話になりました。

